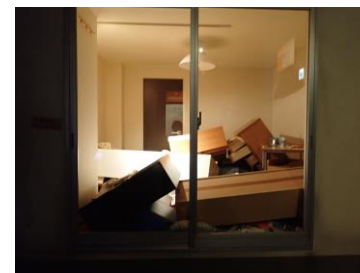
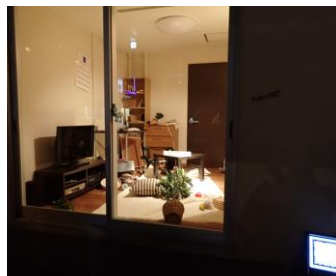


# そなエリア東京

に行ってきました。



8月24日 ふるさと協議会・防犯防災部15名で江東区にある「そなエリア東京」へ行ってきました。そなエリア東京は地震災害直後の支援の少ない時間をどのように生き抜くのか？を学ぶ防災体験学習施設です。



耐震化をされた住宅(写真左)とされていない住宅(写真右)。耐震化をされていない住宅は、家具が倒れてしまっています。→クイズに答えながら進んでいきます。

## ①72h ツアー ~大地震後の72時間を体験します~



エントランスで受付を済ませます。今回は団体扱いです。

ひとり1台タブレット端末を貸してもらい震災が起きた時にどうしたら良いかクイズに答えていきます。

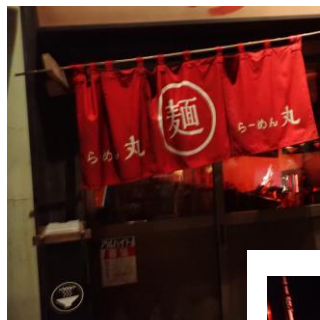


→クイズに答え終わり、起震の乗り物へ。今回は団体で申し込みだったので特別に起震の乗り物に乗る体験をさせてもらいました。最大震度6までの揺れと関東大震災の揺れを交代で2回経験しました。シートベルトはしているものの、揺れが激しく真っすぐには座ってられません。

## Start



デパート10階で映画を見終わった直後に大地震が来たという設定です。



地震直後の街並みが再現されています。火事、倒壊などリアルです。



## ゴール



仮設トイレの展示やペットボトルを使った家具の提案、東日本大震災の避難所の様子も再現されていました。

## そなエリア東京は…

普段は一般に公開していますが、大きな地震が起きた時には対策指令本部になるそうです。  
ちなみに映画シン・ゴジラのロケ地でも使用されたそうです。



対策室では48画面を同時に見ることができるテレビと座席が200席あります。  
右中央の黒色の椅子が指揮をとる大臣が座る席であると説明をされました。



## ② 展示コーナー

普段の備蓄品の紹介

### 災害時に備える

あらゆる場面を想定しての備えがたくさん  
の看板で紹介されていました。  
ここでは抜粋して載せます。

- 基礎疾患がある
- アレルギーがある
- 危険度マップでリスクを知る



もしもの時のために基礎疾患のある人やアレルギーのある人は周りの人に知らせておくことも大切です。



自分の住む地域の危険性を地図で確認することや救助を待つ間、地域の人と協力して対処することも大事です。

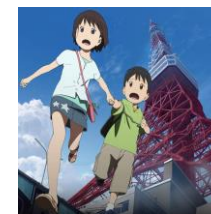
### ●現金の必要性

キャッシュレス化の世の中ですが、災害時に使えないことも考え、多少の現金も必要です。



### ●自主防災のすすめ

防災用具や災害時の食料の定期的な確認と災害時の危険個所の見える化と行動のシミュレーションが大切です。



フジテレビで放映された「東京マグニチュード 8.0」のアニメも上映されていました。12分間にまとめたダイジェスト版です。

子ども向けに防災を学べる本の紹介もありました。

普段からの備えを見直す良い機会となりました。  
子どもにもわかりやすい内容でしたので、お子様やお孫さんとお出掛けのついでに足を運んでみてください!!  
東映第二自治会 公共・施設 若林



そなエリア東京 (国営)  
東京臨海広域防災公園

東京都江東区有明3丁目  
8番35号

ゆりかもめ有明駅より徒歩2分  
入場無料